



「とべないホテル」一生懸命練習したよ

12月15日 にこにこ発表会(仁科認定こども園)

12月定例会・臨時会

2~4

一般質問

6~12

議会の動き

13~15

視察研修報告ほか

16~17

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでもご覧いただけます。



サンセット コイン ポイント 10%還

開催期間	12月5日から12月7日まで
審議した案件	町長提出議案 14件 選挙 1件
主な議案	令和5年度一般会計補正予算（第7号）（第8号） 国民健康保険特別会計、水道事業会計、温泉事業会計、サンセットコイン事業特別会計の補正予算 犯罪被害者等支援条例の制定 印鑑条例の一部改正ほか条例改正など

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算（第7号） （賛成8：反対1）

歳入歳出にそれぞれ4億7926万7千円を追加し、予算総額は80億1267万8千円です。

歳入の主なものは、財政調整基金からの繰入金で、公共施設等総合管理基金へ3億円、森林整備基金へ1億円の積み替えと、今回の補正財源不足調整分2942万4千円の合計4億2942万4千円です。

歳出の主なものは、住民基本台帳システム改修業務1216万6千円、町有林間伐業務500万円の増額。西豆衛生プラント組合負担金1685万6千円の減額などです。

主な質疑は次の通りです。

宇久須港トイレ新設工事

176万6千円増額

問 入札不落で、設計し直したということだが。

答 材料費の増額や部材の見直しなどにより事業費全体として3414万4千円になり、町の負担金はその35%で1195万1千円となり差額を追加します。

※地域発信型映画製作委託費

300万円

問 既に撮影を行っているが事前執行の経緯は。

答 当初クラウドファンディングのみの予定でしたが、町に寄附金を持ってこられる町民がいたので、寄附金の予算を計上することになりました。

※地域発信型映画とは

「自分達が住む町の様々な魅力を全国に伝え、地域を活性化させたい。」という地元への熱い想いを、映画を通して実現するプロジェクト。

吉本興業が中心となり全体をプロデュースしながら、地域住民とともに映画撮影を行う。

反対討論 事前執行や事前審議は地方自治法で禁止されていて、財政規律を乱すような予算案は反対。

賛成討論 本来ならばあってはならないが、事前に丁寧な説明もあり、状況を見ると賛成。

元決定

国からの重点支援地方交付金は

◎住民税非課税世帯1世帯あたり7万円支給します。

◎サンセットコイン10%還元を活用します。

(期間は12月20日から3月末まで)

一般会計補正予算(第8号) (全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ8202万8千円を追加し、予算総額は80億9470万6千円です。

歳入は重点支援地方交付金8202万8千円。

歳出は価格高騰緊急支援給付金事業費8202万8千円。低所得者世帯への負担軽減を図るため、住民税非課税世帯1世帯当たり7万円を給付します。

サンセットコイン事業特別会計補正予算(第3号) (全員賛成)

歳入歳出にそれぞれ1億4050万円を追加し、予算総額は16億6035万8千円です。

歳入は重点支援地方交付金3200万円、チャージ料1億850万円。支出はサンセットコイン利用料1億4050万円です。

重点支援地方交付金を活用し、12月中旬から3月末までの間、サンセットコインの還元率を5%から10%に上げます。

※開始日は12月20日からとなりました。

特別職の職員で常勤のもの の給料等に関する条例 の一部改正

(賛成4:反対5)

今年度の賀茂郡下の他町の改定予定状況は、松崎町以外は全て支給割合4.50月のため、当町においても、0.35月引上げて4.50月とするものです。

反対討論 文教施設事業の白紙に伴う、効果のない巨額の支出があったが、町長は結果責任の反省の気持ちを表していない。本来であればいただけるお金を、1年間は我慢をしてほしいから反対。

反対討論 町長は文教施設建設において、町に多額の契約違約金を支払わせた。本来ならば自らの給与返納も含め、何らかの責任を取るべきだと思うが、何ら行動を起こさずとしないので反対。

賛成討論 トップにだけ責任を押しつけて、議員はどうかんだということがある。議員と町長は同等であるという考え方もあるならば、

片方だけという状況は片手落ちと考えて、賛成。

水道事業給水条例の一部 改正

(全員賛成)

水道委員会に水道料金の改定について諮問した結果、水道料金の改定は妥当という答申をいただきました。

料金体系を町内全域、逡増方式に統一し、基本料金を月額税込み330円増額して月額税込み1320円に改定するものです。

主な質疑は次の通りです。

問 財政シミュレーションの結果、8年度に赤字になる見込みだったが、今回の改訂でどれくらい延びるのか。

答 14年度以降に赤字になる見込みです。

問 宇久須地区の水は金属を腐食させ、器具の買い替えなどの負担があるが。

答 水道委員会から「宇久須地区の水質のことは検討してください」という意見もありました。

料金は改定しますが、今後水質調査はしなければならぬという認識でいます。

第4回臨時会

10月26日

児童通学用スクールバス 運行業務を本年度中に委託

一般会計補正予算（第6号） （全員賛成）

歳入歳出それぞれ365万5千円を追加し予算総額は75億3341万1千円です。

歳出の主なものは、賀茂小学校の遊具設置費用300万円、仁科認定こども園のエアコン点検整備など施設修繕費97万3千円です。

また債務負担行為の補正として、賀茂小学校統合に伴い児童通学用スクールバス運行業務を本年度中に委託契約し、6千万円以内の金額を6年度から8年度までの3年間に支払う委託料を追加します。

主な質疑は次の通りです。

賀茂小学校遊具設置工事

300万円

問 なぜ計上漏れしたのか。

答 学校建設を断念する状況になり、急ぎよ予算査定時に計上しましたが、遊具費用しか念頭になく設置費用が漏れてしまいました。

スクールバス運行業務委託料

債務負担行為限度額6千万円

問 一般入札を行うのか。

答 業者を指名して入札、もしくは期間短縮のため見積り徴収で締結をします。

請願（第1号）

（採択1：不採択8）

（件名）

広域ごみ処理事業から脱退し、ごみ減量・資源化事業の推進を求める請願

（紹介議員）増山勇議員

（請願者）仁科 山本久子

田子 原みかい

（請願理由）

まだ十分使用可能な焼却炉を廃棄し、莫大な費用を負担して焼却炉を建設する事業に参加することは西伊豆町民にとって全く無駄な事業である。

広域ごみ処理事業はごみ減量・資源化に反し、資源であるごみを燃やさない処理は世界の流れであり、焼却に替わる処理方法は他に考えられる。

請願は紹介議員に対して質疑をします。

増山勇議員に対する主な質疑は次の通りです。

問 資料の中に持ち込みごみは往復70分以上かけて下田市まで運ぶと書かれてあるが、町は中継所を設置すると説明しているが。

答 具体的にはどのようにするのか現時点では不明なので、下田市まで持っていかなければならないと書いてあります。

問 斎場建設との兼ね合いは。

答 直接関係ないので答えられません。

問 焼却に替わる方法とは。

答 トンネルコンポスト方式や、埋立てる方法などです。

問 大規模修繕し延命化して使っていく想定期間は。

答 概ね10年から20年です。



（引用元：㈱アカバネ総合スポーツ・遊具総合カタログ2022）

子どもたちが願う「学校に欲しい遊具」です

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
第4回臨時会	一般会計補正予算(第6号) [365万5千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	広域ごみ処理事業から脱退し、ごみ減量・資源化事業の推進を求める請願 [広域ごみ処理事業からの脱退と、ごみの減量・資源化の推進を求めるもの]	×	×	×	—	×	×	×	×	×	○	不採択
12月定例会	犯罪被害者等支援条例の制定 [被害者等支援のため条例を制定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	印鑑条例の一部を改正 [マイナンバーカードの一部機能をスマートフォンに搭載し、利用するためのもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正 [三役のボーナスを引き上げするもの]	×	×	○	—	○	×	○	○	×	×	否決
	職員の給与に関する条例の一部を改正 [職員の給与及びボーナスを引き上げするもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [産前産後期間に保険税を免除するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	手数料徴収条例の一部を改正 [コンビニ等での証明書発行手数料に関するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業給水条例の一部を改正 [水道料金を改定するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更 [加入団体の名称を変更するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第7号) [4億7926万7千円を増額するもの]	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) [3800万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	水道事業会計補正予算(第1号) [216万1千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
	温泉事業会計補正予算(第1号) [103万8千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第8号) [8202万8千円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	
サンセットコイン事業特別会計補正予算(第3号) [1億4050万円を増額するもの]	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	可決	

議長（堤 豊）は採決に加わりません。



まつだ たかひろ
松田貴宏 議員

ツキノワグマの協議は

(町長) 事務所管は県となっています

質問 ツキノワグマに備えて、市町や県、警察を交えた会合を計画していると4年3月の定例会での質問に答えているが、協議が開かれていない理由は。

町長 ツキノワグマの事務所管は県となっていますが、伊豆半島にはいないことになっているため、賀茂農林事務所も対応に苦慮されているようです。また人身被害の危険性がある場合以外は、県庁自然保護課管轄のため、積極的に動いていないものだと考えます。

質問 もしツキノワグマが現れた場合の懸念事項は。

町長 山奥の目撃情報を大きく報道いたしますと、かえって住民の不安をあおることになりかねないという懸念もあります。

質問 with ツキノワグマの時代に備えて検討してきたことは。

町長 伊豆地域だけでなく、全国的な動向を注視して、今後の方針は変わっていく

と考えますが、例えば熊に対応できる大口径のくくりわな購入費などを見込んでおくといったことを、来年度予算に盛り込みたいと考えています。

ファブリダムの魚道は

検討していきます

質問 仁科川ファブリダム（小田起伏堰）には魚道を再整備する必要があると思うが、町の考えは。

町長 施設の更新に当たっては、魚道を含め、健全性を保て、維持管理がしやすい

構造にできないか検討していきます。

質問 生活排水を流すためとなると常時起立しておくため、土砂吐きの必要もあると思うが。

町長 現在の構造では、土砂吐きの追加ができないと考えますので、検討します。

質問 住民の声を聞いて、計画を立て整備していただきたいが。

産業建設課長 現在の堰（せき）の構造的欠陥というものを補えるような設計を、みんなで考えてつくってきたいと考えます。



資源にも環境にも配慮した仁科川になりますように

認定こども園移転の時期は

(町長) 可能な限り早く移転したい



あさかもと き 議員
浅賀元希

質問 認定こども園建設は考えを示さずワークショップなどで方向性を決めていただくとのことだが、津波浸水想定区域内でも仕方が無いと考えているのか。

町長 津波浸水想定区域外を前提としています。想定区域内の場合、津波の高さを考慮した対策を講じた上で整備する必要があると考えています。

質問 認定こども園移転は、早期に進めるべきだと思いが時期についてどのように考えているのか。

町長 可能な限り早く移転したいという気持ちで取り組んでいましたし、その思いに変わりはありません。しかしながら候補地が決定してから早くても2年はかかるであろうと考えています。

質問 建設候補地が決まってから2年を要するのであれば、建設地をいかに早く決定する必要があるため、早く文教施設等整備委員会を開催し決定するべきでは。

町長 文教施設等整備委員会の進め方については一刻も早く場所が決まるようにお願いしたいと考えています。

避難場所設置基準

引き続きこの基準で

質問 今までの訓練で現在の指定避難場所に想定時間内に完全に避難できた地区は、ほぼありません。町の高齢化率、お達者度の状況から考えて200m以内という基準を見直すべきでは。

町長 津波避難タワーの設置基準については、これまで

での基準で整備していきたいと考えています。

質問 静岡県アクションプログラム2023では、7年度までに想定犠牲者数9割削減や被災者の避難環境の質の確保に取り組むとあるが、町の考え方は、県と乖離していると思うがどのように整合性をとっていくのか。

町長 県では、今までのものを改善し今後10年間について作成しましたので、町としても県の計画を含め検証作業を進めています。今後町独自でやるものは、精査しながら進めたいと考えます。



大切な子どもたちを一刻も早く安全な場所へ



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

国・県・町道の草刈りは (町長) 国・県道は県にお願い

質問 国・県・町道の草刈り・剪定については、実施する時期が草の丈に対して遅いように感じるが町長の考えは。また、シルバー人材センターが実施した所は綺麗になっているが、その間の県が管理する箇所、草刈りがしていない箇所が多々散見される。同一箇所の草刈りは、一度に行い効率を上げるべきだと考えるが。

町長 国・県道の管理は県で、町の方からは草刈りを願う以外に方法がありません。町道に関しては、土木作業員を増やし対応していますが、手が回らない時は、シルバー人材センターにお願いしています。

産業建設課長 今年度は当初から同時にやるつもりでしたが、手続き上の問題で、できませんでした。

質問 道に被^{かぶ}さっている木々の切断・除伐は。

町長 町道に関しましては、既に、順次危険箇所を優先的に実施しています。

質問 崩落・落石している道路の修理は。

町長 今後も適切に対応していきます。

寺川親水公園の草刈りは 県に管理を申し入れ

質問 中区寺川親水公園は、草刈り作業をやらなくなって久しい。親水公園とは名ばかりで、もう少し手を入れた方が良いのでは。

町長 仁科川の管理は県なので、県に対し、適切に管理するよう申し伝えます。

質問 一色区堀坂町内会広河原親水公園は、現在残土置

き場となっている。いつまで残土を置くのか。

町長 現在二つに分けて盛土してある土砂については、上流側の物については雲見の災害土砂を仮置きしており、6年度の他工事で流用する予定のため、片づくのは6年度中になる見込みと聞いております。

また、下流の物については、12月から着工する仁科川の仮設工事に使用する予定で、5年度中には片づく見込みと聞いています。県に対し、適切に管理するよう申し伝えます。



綺麗な生垣で観光客をお出迎え！

出産祝い金の拡充をすべき

(町長) 前向きに検討したい



やま だ あつ し 議員
山田厚司

質問 子育て支援策として多くの自治体を実施する「出産祝い金」は、合併時の統一以来変更されていない。現状を踏まえ拡充すべき。

町長 明確な方向は決定していませんが、前向きに検討したいと考えています。

質問 育児の負担軽減のため、おむつ関連商品などの「育児用品購入補助制度」を設け、切れ目のない支援を。

町長 新制度よりは、「出産祝い金」の拡充で対応するほうが、スムーズと考えます。

質問 通販、ネット販売も可能として制度設計しては。

町長 何に使うという育児用品の補助制度より「出産祝い金」を拡充した方が、何にでも使えると考えます。

質問 家庭的保育者が行う「保育ママ事業」の現況は。

町長 利用者がいる間は運用していましたが、現在は子供も少なく、認定こども園にて対応ができています。「一時預かり保育事業」もあり大丈夫だと考えます。

質問 おむつ替えや授乳できる「赤ちゃんの家」などの環境整備とともに、補助制度を構築し推進しては。

町長 子育て世代が安心して外出できる環境づくりは必要であり、調査研究し検討したいと考えています。

「ファミリーサポートセンター事業」の導入は

可能性を検討したい

質問 地域ぐるみの子育て支援策として有効な「ファミリーサポートセンター事業」を導入すべきでは。

町長 他の市町の状況を把握

したうえで、導入の可能性を検討したいと考えます。

土木作業員の拡充は

増員は考えていません

質問 増加する地区要望への対応や負担軽減のため、土木作業員を拡充すべき。

町長 繁忙期にシルバー人材センターも併用する状況です。増員は考えていません。

質問 パートタイムの作業員をフルタイムにしては。

産業建設課長 体力的なことや希望もあり難しいです。



次代を担う子供の誕生を祝い、皆で健やかな成長を願って



たか はし けい じ
高橋敬治 議員

学校トイレの洋式化・乾式化は (町長) 来年度に先ずは西伊豆中体育館

質問 今年度実施されなかった学校トイレ洋式化・乾式化への取り組み予定は。

町長 担当課での対応が遅れましたが、来年度に先ずは避難所としての利用が考えられる西伊豆中学校体育館を検討いたします。

質問 今年9月時点で公立小・中学校のトイレ洋式化率は全国で68.3%、静岡県が60.8%に対して西伊豆町は42.1%で、県下の市町で下から2番目である。

新校舎建設がいつになるかわからない状況であり、計画的に進めて欲しいが。

教育委員会事務局長 感染症が拡大しているなかで、洋式化・乾式化、非接触型による対策が求められており、計画的にやっていかなければと考えています。

町長 学校を建設すれば特別教室の空調設備や照明LED化、トイレ整備はしなくてもよかったですのですが、二重投資をせざる得ない状況をご理解願えればと考えてます。

黄金崎柴線法面改良は

6年度予算に計上予定

質問 黄金崎柴線法面改良工事の測量・設計の結果は。

町長 「宇久須隧道」の両坑口の上面両脇にポケット式落石防止網、ラビットフェンスを設置し転石対策をする予定です。

隧道から「こがねすと」までの法面は、ひび割れ部分にポリマーセメントモルタル吹付けを検討しています。いずれも6年度当初予算に計上する予定です。



現在は落石防止用に仮設のコンパネが設置されています

町有林で※J-クレジットを

県の動向を見て検討する

質問 町有林整備はJ-クレジット創出の対象になると思うが可能性と取り組みは。

町長 県が県営造林地で検証を行うので、その動向を見て検討をしたいと考えます。

※J-クレジット制度とは

森林管理によるCO₂吸収量や省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギーの利用によるCO₂などの排出削減量を、クレジットとして国が認証する制度。

(2013年度にスタート済み)

食物^{ざんさ}残渣堆肥化試験の状況は

(町長) 順調なので堆肥化を推進したい



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

質問 循環型社会を目指す取り組みの中で、生ごみの再資源化を目指した食物残渣堆肥化試験を行っているが、今の状況は。

町長 順調に進んでいます。2月に成分調査を行い、その後、畑に使ってみて効果を確認したいと考えます。

質問 将来の展望は。

町長 堆肥化を推進していきたい。ただそのためにはそれなりの面積が必要で場所の確保が大きな課題です。

質問 魚のアラは分解も早く良い肥料になると思うが、産業廃棄物である魚のアラの堆肥化は考えていないか。

町長 環境省と相談します。

環境課長 町が必要であると認める産業廃棄物の処理として、一般廃棄物処理計画の中に明記すればある程度の処理は可能と考えます。

質問 地元企業支援という意味からも検討して欲しいが。

町長 条例改正には一般家庭から出るゴミの量とのバランスが課題となります。

バイオマス発電

地域商社による運営を検討

質問 森と海の6次産業化プロジェクトでバイオマス発電に取り組むというが。

町長 持続可能な林業を目指し、木材の域内消費と加工を模索する中、地域商社による運営を検討しています。

産業建設課長 小規模木質バイオマス発電でガス化発電を検討しています。原材料が森林整備の一環で生じた端材や間伐材であることが前提で、固定価格買取制度

の適用になります。

質問 木質バイオマスは安定的な確保が見込めるのか。

町長 出てくる材の量に合わせて設置するので120kWくらいの出力になる状況です。

広域ごみ処理施設への影響

運搬コストやCO₂削減

質問 11年度竣工を目指す広域ごみ処理施設だが、分別を進めることによる影響は。

町長 分別回収や生ごみ回収などを進め、運搬コストやCO₂排出を少なくする努力をしたいと考えます。



良質の堆肥を期待したい



せり ざわ
芹 澤

たかし
孝 議員

紙おむつ支給事業の取り組みは (町長) 継続する方向で考えています

質問 国は2020年に介護用品の紙おむつ支給事業を、他に優先させる事業が介護保険にはあるので現行のまま行うのは2024年3月までの方針を示し、紙おむつ支給事業の縮小、廃止、市町村の100%財源での実施のいずれかの選択を迫ったが、今後の取り組みはどのように考えているのか。

町長 現時点で詳細は決定しておりませんが、終了ではなく、継続する方向で考えています。

目的外運行は可能か

通学に支障ない範囲で

質問 町所有で自前のスクールバスを賀茂小学校向け来年度より運行するが、通学以外の目的に使うことはできるのか。

教育委員会事務局長 通学に支障が出ない範囲で、学校教育活動の一環として、小中学校の校外学習、中学校の部活遠征などについては

利用可能です。放課後児童クラブにつきましては住民利用といった扱いになりますので、文部科学省へ届出が必要になります。

事業を社協へ丸投げでは

職員は一緒に活動

質問 大沢里で行われている高齢者移動支援を順次広げようと、社会福祉協議会は限られた人材で尽力しているが、その進捗状況は芳しくない。早期にこの事業が完成形となるようにするには、委託事業として社会福

祉協議会に丸投するのではなく当局は財政面、住民の合意形成、ボランティアの確保などに積極的な協力体制をとるべきではないか。

健康福祉課長 高齢者移動支援事業を押し進め広める業務の全般は社会福祉協議会が行いますが、事業推進の協議体には役場職員も参加しています。現在、宇久須地区に広げようと、職員は社会福祉協議会と連携をして一緒になって活動をしていますので引き続き行っていきたいと考えています。



(写真は同タイプの河津町スクールバスです)

自家用バス運行を専門業者に委託して安全を担保する

議会の動き

第2常任委員会報告

企業課

11月16日に企業課の所管事務調査を行いました。

料金改定の現状

水道会計は現行の料金体系のシミュレーションを実施した結果8年度に赤字になる見込みです。また水道に関しては、さまざまな施設がありますが、ほとんどが老朽化しており改修や耐震化が必要な状況となっています。

【現状に基づく町の動き】

- ・今年度水道委員会を開催
- ・水道委員会からの答申受取
- ・答申内容を議会全員協議会で報告
- ・町内5ヵ所で地区説明会開催
- ・12月定例会で条例改定（12月6日可決）

【答申内容】

- ・基本料金の月額330円の値上げ
- ・超過料金の計算方式を逓増制に統一

【地区説明会の状況】

- ・参加者45名（5地区合計）
- ・行政側 町長、副町長、企業課長、業務係長

【説明会での主な意見】

- ・概ね改定に賛成
- ・水道施設工事費は、一般会計で実施するべき
- ・合併から既に18年が経過しているのに料金統一が遅すぎた、もっと早く実施するべきだった。

【今後の予定】

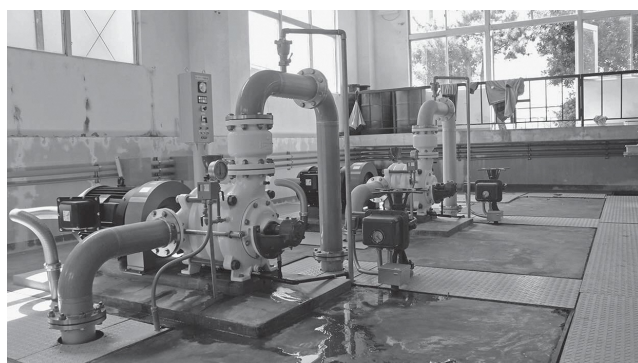
- ・1月以降広報、ホームページ等で周知、町外者には郵送で案内
- ・6年7月の検針に基づき8月請求分から新料金で徴収（2ヵ月に1回検針）

公営企業会計

- ・水道収入を主な財源として事業を経営する会計
- ・3条予算と4条予算があり3条予算は、水の供給というサービスの提供に関するもので、4条予算は、水を作り送るための施設建設に関するものです。
- ・減価償却費は、決算上は計上しますが、実際に現金支出がないため、翌年度以降の設備投資をおこなうための財源となります。
- ・8億円ほどの長期前受金がありますが、これは工事に係る国の補助金の受入科目で、決められた年数で分割して収益に上げていくものです。

水道事業ビジョンの考え方

- ・令和33年までの工事計画を一覧表にまとめたもので5年に一度検証し計画の見直しを行う。
- ・配水池などの水道施設の改修、耐震化を優先しその後管路の耐震化を図る。
- ・水道施設は、ほとんどが耐用年数を過ぎているが財政的に短期間に改修できないので耐用年数の2倍くらいで更新計画を立てています。



命をつなぐ水道事業の安定化を目指して

第2常任委員長 浅賀 元希

商工会との意見交換会

【開催日】 10月10日

【参加者】 商工会役員5名 職員3名

【状 況】

- ・商工会は、自主財源の低下、補助金の削減により商工会運営が難しくなり、会員サービスの低下の懸念がある。
- ・商工会館の老朽化が進んでいるおり維持管理費負担が大変である。
- ・今年度実施しているサンセットコイン5%還元事業は、事業者にとって効果があった。

【要望事項】

- ・インボイス制度が開始されたが、町内の事業所は、小規模でインボイス登録を行っていない事業所も多いがそのような業者であっても町の取引の中に入れてほしい。
- ・ここ2～3年の運営補助は増額となっているが、それ以上にいろいろな経費がかさんできているため、運営補助の増額を考えていただきたい。
- ・スクラッチ事業は、インパクトとしては面白いが、課題としては当たりのカードが換金されないこともあり、改善の必要がある。



老朽化が進む商工会館

観光協会との意見交換会

【開催日】 10月10日

【参加者】 観光協会役員6名 職員1名

【状 況】

- ・コロナが落ち着き宿泊客は、8割ほど回復してきたが、諸経費の高騰や借入金の返済などが始まり宿泊業者は非常に苦しい状況である。
- ・国の高付加価値事業に概ね20社の会員企業が参画し、露天風呂付き客室へのリフォームや、飲食店・土産物店などが雰囲気のある店舗づくりをおこなうことで、滞在時間の延長、客単価の増額を図る取り組みを行っている。
- ・インバウンドは、東海岸では、増えてきているが、当町では恩恵がなかなか出にくい状況である。
- ・飲食関連では、アニメの力に助けられ新しい顧客の確保ができ売上の増加につながった。
- ・貸切バスは、運転手の2024年問題で、遠距離になると運転手が2名必要になり団体旅行の料金が上がることが考えられるため、何らかの支援が無ければ遠方からの団体客の回復は厳しいと思われる。



アニメが経済の力に

第2常任委員長 浅賀 元希

伊豆の国市斎場行政視察

第2常任委員会は、10月20日に伊豆の国市へ行政視察研修に行ってきました。

今回の研修は、斎場建設の候補地が決定されたことに伴い、建設にあたり最新の斎場の性能や環境への影響などについて説明を聞くことと施設見学が目的です。

なお斎場につきましては、松崎町と一部事務組合を設置し建設から運営までを共同でおこなっていく覚書が交わされており、松崎町議会議員との合同研修となりました。また当町からも第2常任委員会委員以外にも有志の議員の参加もありました。

伊豆の国市対応者

伊豆の国市議会議長、議会事務局長、担当課職員2名

施設概要

斎場名称	なぎもり 椰の杜
供用開始	令和3年4月
主要構造	鉄筋コンクリート造
主な諸室 設備	火葬炉3基 ペット炉1基 霊安室 待合室3部屋 多目的室 給湯室 キッズルーム 駐車場72台 中型バス2台
事業費	約19億7千万円
稼働	午前9時から一日最大7回火葬
炉燃料	灯油
使用料	市民 5,000円（市民外 50,000円）
運営	委託業者

運営にあたっての配慮

- ・排ガス濃度、臭気濃度、水質、浄化槽点検を実施し年1回地元へ報告。（当初報告会を実施していたが、現在は回覧にて報告している。）
数値は、ゼロではないが基準値からみれば全く問題ない。
- ・多目的室の窓は、富士山に向け大きなものとし、火葬の終了を富士山や眼下の景色を見ながら心穏やかに待っていただけるよう心掛けた。

供用までの主な経緯

H29. 3月	新火葬場基本計画検討委員会設置
H29. 6月	新火葬場基本計画策定
H30. 8月	新火葬場基本設計完了
R 1. 6月	実施設計完了
R 1. 6月	建築工事着手
R 3. 2月	工事完了
R 3. 4月	供用開始



まるでカフェのような斎場の顔



早く我が地域にもと思いつつ見学する両町議員

第2常任委員長 浅賀 元希

町村議会広報研修会報告（9月26日東京都）

千代田区の日経ホールで開催され、広報編集委員5名と議長が参加しました。

①「広報担当者が知っておきたい基礎知識」

弁護士 玉木奈々子氏

②「なるほどそうか・・・知ってよかった！読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎」

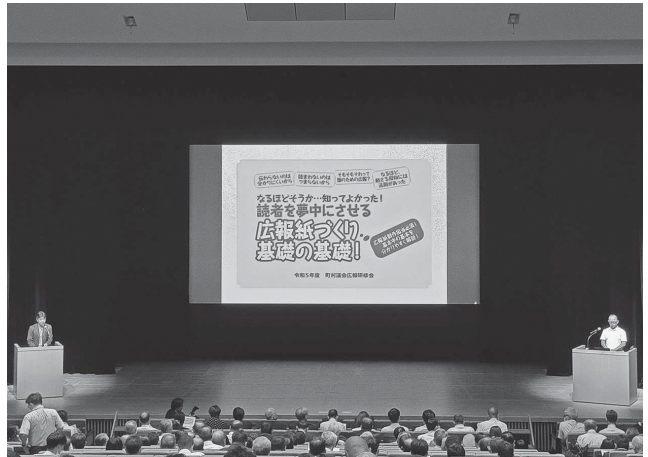
メディアプランナー 白木一誠氏

③「パツと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」

グラフィックデザイナー 平本久美子氏

以上の講義を受けました。著作権や肖像権、引用など議会だよりを作る上で必要な法的知識について、また、より多くの方に親しみを持って読んでいただくための、デザインやタイトルの付け方なども教えてもらいました。

今後の編集に参考になることも多くあり、よりわかりやすいものを目指し決意も新たにです。



広報編集委員長 仲田 慶枝

賀茂地区市町議会議員研修会報告（10月13日松崎町）

松崎町の環境改善センターで開催され、議員9名が参加しました。

「自治体 DX 推進の動きについて」

関東学院大学法学部客員教授 廣川聡美氏

今回は下田市の議員も加わり、賀茂地域で63名の研修となりました。

高齢化や自治体職員の減少により地域の課題が増大している中、できるものはデジタル化し、人でなければできない仕事に職員はシフトすればいい、という内容でした。データを分析、活用することにより社会課題の解決をはかることができ、職員の働き方を根本的に変えることができます、広域の連携や協力の推進も容易になります。一方、住民にとっても、いつでもどこでもオンラインでサービスの利用が可能になるという利便性の向上が見込まれます。そして、最も肝要なのは誰一人取り残されない社会が実現できるということでした。

当町ではサンセットコインが普及し、町民がキャッシュレスに馴染んでいます。最先端かもしれませぬ。



副議長 仲田 慶枝

姉妹町交流「富士見町・市川三郷町議会議員訪問」（10月30～31日）

好天に恵まれた2日間、議員10名が参加しました。

市川三郷町

庁舎で議長副議長が出迎えてくださり、最近の町の様子、議会の様子を伺いました。

町は平成27年に手話言語条例を制定して手話の普及に努めていますが、今年は山梨県も条例を制定したということです。9月23日を「手話言語の日」と定めたそうです。

また、有名な花火のお話、和紙障子紙など特産品については、環境の変化からその地場産業維持の難しさなどをお話してくださいました。そんな中でも紅葉が美しい四尾連湖でのグランピングが話題を呼んでいるとのことでした。

厳しい財政のお話は避けて通れませんでした。遠藤町長が9月に財政非常事態宣言を出しました。今思えば3町の合併がゴールという意識だった、合併による地方交付税の段階的縮減で自主財源が減少しているにもかかわらず、十分な見直しがないまま、従前どおりの行政経営を維持してしまっていた、という辛いお話でした。



富士見町

主に「移住・定住の取り組みについて」視察しました。Fターン（ふじみまちのF）と名付けて移住促進、手厚いサポートの仕組みと快適な働く場（森のオフィス）の提供を見学しました。人口の社会増を実現しているそうです。議員さん達とは4年振りの懐かしい再会でした。

地域共生センター「ふらっと」

撤退した地方銀行支店を改装して総合福祉施設としています。駅前商店街の一等地です。全ての方の「居場所」として設置されたコミュニティ施設で、日中は高齢者や障害を持った方々、午後になると小中学生が寄りこむ、明るい快適な空間でした。

富士見ウツリスムステーション

JR 富士見駅舎内に設けられています。移住希望者の相談に乗り、空き家や土地の紹介をしています。毎年300件以上の新規の相談があり、昨年度には21件の契約が成立したそうです。親身に相談に乗ってくれる女性職員と地域おこし協力隊が常駐しています。

富士見 森のオフィス

移住者の受け入れ環境として、テレワークの仕事場提供、利用者のコミュニティ創出や仲間づくりの場を提供しています。元大学の寮だったところをリノベーションしたそうですが、緑の中の心地よい空間です。私たちが訪問した時も二十数人がテレワーク中、厨房では地元の食堂が日替わりで入って営業していました。

移住者が絶えない理由は、町の機能がコンパクトに集中していることが大きいと感じました。また、電車に乗れば乗り換えなし2時間で東京に行けることも見過ごせません。とは言え、移住希望者や移住者への手厚いサポートと快適な労働環境、住環境の提供は大いに参考になりました。



副議長 仲田 慶枝

議会ってどんなところ？

委員会について 2

みなさん、こんにちは。今号では73号に引き続き議会の中の委員会についてご説明します。議会は本会議と委員会で成り立っています。本会議は議員全員で構成され、ご存知のように議案に対する質疑、採決と町政に対する一般質問が行われます。一方、委員会は一部の議員で構成され、本会議の予備審査機関として設けられています。本会議ですべての問題を議論するよりも、部門ごとに分かれて専門的に審査を行った方が能率的で、より深い議論ができるからです。当町の委員会には3つの常任委員会と議会運営委員会が設けられていますが、今回はそのうちの2つの常任委員会についてお話しします。

第1、第2常任委員会は、町政の政策分野を2つに分け、それぞれ担当部門の議案や請願・その部門に属する事務に関する調査を行います。議員は全員がどちらかには必ず属さなくてはならない決まりで、現在5人ずつです。所管事務調査という報告と質疑の機会を各課で頻繁に開かれ、議員の勉強は永遠に続きます。必要とあらば先進地の事例を学ぶ視察にも出かけます。議会だよりでは「議会の動き」として毎号活動の報告をしています。今号では13ページから15ページまでに載せています。ご覧ください。

第1 常任委員会は何をやるどころ？

総務課、窓口税務課、健康福祉課、会計課、教育委員会を担当します。予算では主に一般会計を見ます。12月の所管事務調査では税の徴収率やコンビニでの住民票発行などについて話し合いました。

6年1月には、三重県桑名市へ公民連携による窓口の設置など、民間の力を借りた行政経営を視察に行きます。

第2 常任委員会は何をやるどころ？

まちづくり課、防災課、環境課、産業建設課、企業課を担当します。

予算では主に企業会計、サンセットコイン事業会計などを見ます。企業課の事務調査では水道料金の値上げを始めとする収益状況について考えました。

2月には千葉県南房総市へバイオマス発電施設などの視察に行きます。



窓口税務課所管事務調査の様子

【広報編集委員長 仲田 慶枝】

令和6年1月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号の感想や議会に対するご意見・ご要望など、気軽にお聞かせください。TEL：52-1962